

ムダとりへの挑戦

付加価値のある作業、たった5～10%
ムダをあぶりだし即改善につなげる具体的方法

1 見える・見えない・気づかないムダ

- (1) 作業のうち、ムダな作業は90～95%、
付加価値のある作業は5～10%しかない！
- (2) 「ムダが見えない」「ムダと思わない」ではダメ
- (3) 7つの見えるムダ
 - つくり過ぎのムダ
 - 在庫・仕掛のムダ
 - 手待ちのムダ
 - 運搬のムダ
 - 動作のムダ
 - 不良・手直しのムダ
 - 加工そのもののムダ
- (4) 5つの見えない・気づかないムダ
 - 情報のムダ
 - 環境・エネルギーのムダ
 - つくった後に改善するムダ
 - 経営資源を有効に使わないムダ
 - スペースのムダ

2 ムダを『見える化』してみよう

- (1) ムダを身近な事例で考察する
- (2) ムダの『見える化』のヒント

3 ムダ発見と即改善の具体的活動の進め方

- (1) まずはメモを取りながら、観察する
- (2) 脳科学と心理学を応用した問題点の捉え方
- (3) 現場全員が情報を共有するためのしくみ
- (4) ムダを発見したら、溜め込まない！一気に改善する

4 ムダとりの改善ツール〔事例紹介〕

- (1) 誰でもすぐにできる改善(身近な運搬車の活用)
- (2) 工具や部品の手元化を実施するには？
- (3) 企業の活用事例
 - 「段ボールを使った改善ツール」
 - 「発泡スチロールを使った改善ツール」

5 改善に取り組むための時間捻出のやり方

- (1) 強制的に時間をつくり、改善活動をおこなう
- (2) 事前準備で時間をつくり、改善活動をおこなう
- (3) 短期集中型で改善活動をおこなう
- (4) 改善コーナーを職場内に設置する